



薩摩の武士が生きた町

— 志 布 志 麓 —

日本遺産・国指定名勝等を生かした観光地整備



文化庁  
日本遺産認定



志布志城跡 (国指定)



天水氏庭園 (国指定)



宝満寺跡 (県指定)



平山氏庭園 (国指定)



福山氏庭園 (国指定)



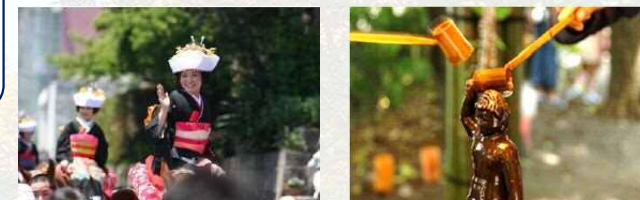
大慈寺 (有形文化財)

# 歴史のまちづくり事業

## 背景・課題

この地に住んでいた女性と侍女が、天智天皇に布を献上したところ、「上からも下からも志として布を献じたことは誠に志布志である」と言われたことがその名の由来

- 『志布志』という名の由来
- 志布志港は、平安時代末期に島津荘の唯一の水門（港）として開かれた港
- 以降、薩摩藩の重要な貿易拠点として栄え、中世には「千軒の町」（人家が千軒もある程の賑わい）と謳われる程の町並みを形成
- また、志布志地区は、「志布志お釈迦まつり」や「山宮神社春祭り」など、伝統的な無形文化財も多く残る
- 先人たちの残した、このストーリー性の多い史跡を生かし、



志布志お釈迦まつり



山宮神社春祭り



田之浦の夜神楽

**「未来へつなぐ、歴史のまちづくりを！」**、その思いで、事業がスタートした。

## 事業内容

- 本年度、「志布志東部地区エリア計画」を官民とともに策定し、  
**次年度以降、建物改修を目指す**
- 最終的には、  
地域での生活や文化を新たな時代につなげていくため、  
歴史的資源を活用し、志布志麓地区の古民家を交流拠点として再生し、  
**志布志東部地区を舞台に、人の流れを生み出すまちづくりを目指す！**

活用イメージ①

### フロント・レストラン

- ・まちの特徴となる建物として地域のシンボルとなるように施設整備を行う。
- ・訪問者にとっては町に入る第一施設として宿泊のホテルフロントを配置する。
- ・レストラン併設で宿泊客以外のお客様もお迎えする。



活用イメージ②

### 分散型ホテル宿泊エリア

- ・既存建築物の風情ある設えを宿泊施設として活用する。
- ・建築の特徴を生かした客室配置でその風情を楽しむことを提案。

